

マグロなど 15 魚種水銀濃度調査

農水省



水産庁は平成14・15年度にかけマグロ類や深海性魚介類を対象に実施した水銀濃度調査結果と、平成15・16年度にかけ独立行政法人水産総合研究センターが実施した同様の調査結果をまとめ公表するとともに、同日開催された厚生労働省の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会乳肉水産食品部会に提出しました。

今回調査対象となったのはマグロ類とキンメダイ、サメ類などの深海性魚介類15魚種計501検体となります。魚種ごとの濃度平均では、総水銀ではクロカジキの1.16ppm、メチル水銀ではメカジキの0.65ppmが最も高い結果となりました。

厚生労働省が昭和48年に設定した魚介類中の水銀の暫定規制値は総水銀0.4ppm、メチル水銀0.3ppmという数値を設定していますが、マグロ類や深海性魚介類は内水面水域の河川産魚介類とともに暫定規制値は適用しないことになっています。

またこの補足措置として、平成15年6月に厚労省が、魚介類摂食にあたっての妊婦向け注意事項を作成しましたが、その後、JECFA(注1)がメチル水銀のPTWI(生涯にわたり摂取し続けても健康影響が現れない週間あたりの摂取量)を従来の人々の体重1キログラムあたり3.3マイクログラムから体重1キログラムあたり1.6マイクログラムに引き下げたことなどを受け、今回、薬事・食品衛生審議会が改めて、妊婦向け注意事項の見直しを進めることになっています。

(注1)WHO / FAO合同食品添加物専門家会議

資料:2004年8月17日付 EIC ネット

機器分析箇所 市川 雅俊

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

